第26回

みんなの

尼活皆議

西大島ふれあいサロンに来られたみなさまと



令和８年８月４日、西大島会館を訪問させていただき、西大島ふれあいサロンに来られた皆さまと体操を行い、その後、意見交換をしました。老人クラブへの補助制度のあり方や激甚化する災害への備えのことなど様々なご意見をいただきました。

老人クラブへの補助金制度

【参加者からのご意見①】
市から助成金をもらい老人クラブ活動をしているが、30人以上のメンバーがいることが補助要件となっている。高齢により脱会する人も多く、助成金については30人以下でも支給されるような制度にしてもらいたい。

【これからの対応について】
老人クラブについては、近年、高齢による退会等により会員数が30人を下回り、解散に至るケースも生じているところです。
高齢者の生きがいや健康づくりにつながる多様な活動を促進し、高齢者の生活の充実を図るためにも、脱会等により30人を下回った小規模クラブも助成の対象とすることを検討していきます。





物価高騰対策

【参加者からのご意見②】
あま咲きコインのプレミアムキャンペーン（※）を実施していると思うが、昨今の物価高騰下ではプレミアムの上限にすぐに達してしまう。
（※）R8はコイン８万円分の購入で最大２万円分の還元

【現在の対応などについて】
あま咲きコインを活用した物価高騰対策は市民への経済的支援と同時に市内経済の活性化にも繋がる点で有効な手段であると考えています。一方でご高齢の方を中心にあま咲きコインの使い方が分からない、使い勝手が悪いというお声をいただくこともあります。
そのため、上下水道の基本料金の減免や米券の配布なども併せて実施することで、幅広く市民の皆様に支援を行き渡らせることも意識した物価高騰対策を実施しました。

水道管の耐震化

【参加者からのご意見③】
令和８年７月に発生した熊本地震の影響で、断水被害や復旧の遅れが生じている。尼崎市の水道管の耐震化は進んでいるのか。

【これからの対応について】
尼崎市は平成7年に阪神・淡路大震災を経験していることもあり、その直後から基幹管路である配水本管については耐震管を採用しております。
なお、令和６年度末時点での基幹管路の耐震化率は53.2%と全国平均の44.6%よりも高い状況となっております。
ただ、すべての管路の耐震化には期間を要しますので、令和２年から11年を計画期間とする「あますいビジョン」では救急医療機関や指定避難所、防災拠点といった重要給水施設に至る配水管の耐震化（目標：90%）を優先的に進める計画としております。
この他にも、災害時の漏水被害の局所化や迅速な復旧が行えるよう水道管の配水区域を市内２０のエリアに区切る「配水ブロック化」に取り組み、令和７年度に完了しております。
今後はブロックごとの管理・運用も含めソフト面からも災害対応により一層尽力してまいります。



浸水のリスク

【参加者からのご意見④】
大雨が降った際、尼崎市内は浸水の可能性はあるのか。

【これからの対応について】
大雨が降った際には、雨の量や降り方、地域の状況によって、尼崎市内でも浸水が発生する可能性があります。
本市の下水道施設は、これまで1時間あたり46.8mmの降雨（6年確率降雨）に対応する整備を進めてきましたが、近年の都市型集中豪雨の増加を踏まえ、現在は1時間あたり51.7mmの降雨（10年確率降雨）への対応を目標に、浸水対策を進めています。
具体的には、雨水ポンプ能力の増強や雨水貯留管の整備などを進めるとともに、内水ハザードマップを含む各種ハザードマップの配布など、市民の皆様への周知・啓発にも取り組み、浸水被害の軽減に努めています。

自転車マナーの向上

【参加者からのご意見⑤】
高校生の自転車マナーが良くない。自転車の並走も罰則の対象となるし、自転車ルールを守ってもらいたい。

【これからの対応について】
尼崎市では、毎年、市内の高等学校を対象に、警察署員を講師に迎え、警察と連携して、新入生を対象とした自転車教室を実施しています。
また、上級生にも継続的な注意喚起や講話を行ったりするなど、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めています。加えて、青切符制度の導入に合わせ、生徒へのチラシの配布や保護者への情報提供を行っているところです。
今後も引き続き、生徒に対して、交通ルールの遵守について周知・啓発を行うとともに、各学校に対し、生徒への指導等を徹底するよう要請してまいります。

みんなの尼活皆議



（※）参加者の皆さまのご意見や取組中（または取組予定）の事業等は、代表して一部のみを掲載しています。
この他にいただいたご意見等は、尼崎市公式ホームページに掲載の車座集会の対話録をご覧ください。